

メールマガジン 2023年7月

2023年もういよいよ後半となりました。今年は物価高騰にも拘わらず、皆さまの温かなお祈りと尊いお捧げものによって支えられていることを心からありがとうございます。世界各地が熱波に襲われ、日本もご多分にもれず厳しい暑さのようですが、お変わりありませんでしょうか。特に弱さを抱えている方、幼な子・ご高齢の方々が守られるようにお祈りしております。ドイツも一時は猛暑となり、クーラーのない我が家をはじめとして各家庭では、窓とシャッターを閉めて熱風を遮断して凌いでいましたが、現在は一息ついています。

このような異常気象や戦争等、憂慮すべきことがあまりにも多く、またコロナパンデミック以来、いつ何が起きるか分からない時代に私たちは生かされています。このような困難な時代を通して、何が神の御心で何が神に喜ばれることか、御心を求める成熟した信仰者になれるようにと、神が与えてくださった「訓練の時」ではないかと、つくづく思うこの頃です。

4月初めに日本から戻って以降、対外的なご奉仕や行事が続いた2カ月間でしたが、今月に入って一段落し緊張も解けて、ケルンの地に足をつけた毎日を過ごしています。今後の教会の歩みについて一昨年からの懇談会を開き、話し合いを重ねてきましたが、ある一定の所で意見も出し尽くし横ばい状態となっていました。しかし最近、神さまは思いがけない方向を明確に示してくださいました。イエスさまに連なるお一人ひとりが補い合い、仕え合ってキリストの御体を造り上げてゆく新しい可能性が拓かれたのです。ぶどう酒が熟成されて美味しいぶどう酒になるように、新しい革袋にたくさんの祝福が溢れ、どんどん発酵してゆくような教会のイメージが与えられ、更なるお導きに期待しています。

さて、来月のことです。8月3日～6日迄、恒例の「ヨーロッパキリスト者の集い」が開催され、私のご奉仕は、主日礼拝での子どもの説教と聖歌隊のピアノの伴奏です。久しぶりにピアノの練習をしないと…。そして、ある先生からの依頼で日本のT神学大学に通っておられる姉妹が8月21日～27日迄、我が家にホームステイされる予定です。どのようなお交わりとなるのか楽しみです。8月のためにもお祈り頂けたら嬉しいです。猛暑の折、皆さまのご健康が支えられますようにお祈りもうしあげます。

ホームページにはドイツの様子がわかる写真も掲載しています。過去のメールマガジンも見やすかったですので、是非ご覧ください。<http://www.komatsugawa-ch.com/PfarrerIn-Ryokosasaki/mailmagazine.html>

色が濃くて力強い!!

我がアパートの玄関前に咲いているアジサイ



ドイツで皆さんと頂くソーメンは格別!!

礼拝に2時間以上かけて集う方々もおられ、会堂滞在時間よりも移動に多くの時間を費やしています。ドイツ鉄道は遅れることは当たり前で、時には予定の電車が突如運休になることも日常茶飯事。ですので、日曜日はちょっとした小旅行のようなものとなります。

そのような方々への心遣いとして、教会の姉妹方が愛情たっぷりの美味しい手料理を作ってきてくださいます。今は暑いのでソーメンです。

